



■活動日：2018年3月10日（土） 10：00～14：00

■参加者：チーム神於山 正会員 7名

■活動内容

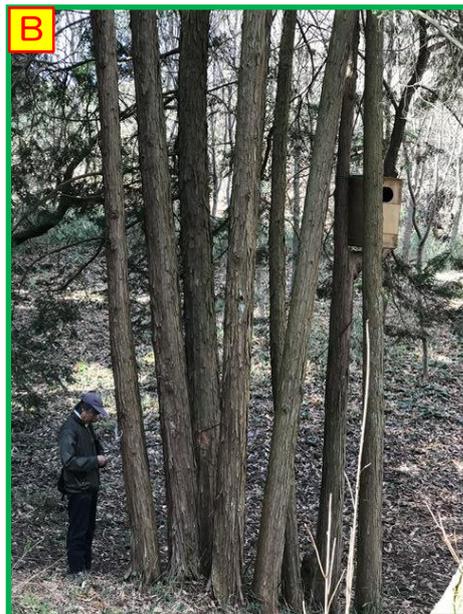
- ・今回の活動目的は、フクロウの営巣確認で、午前中に終わる予定でした。
- ・しかし、気になることがあるとすぐやりたくなる性分の方が多く、フクロウの営巣確認だけでなく、昨年の豪雨時に伏流水が噴き出し、穴が開いた上部植栽地に向かう沢筋の作業道の補修、雨水を貯めるための準備として倉庫の屋根の清掃、倉庫の屋根に降った水を集める仕掛けの整備、多目的広場の排水管から8～9日に降った雨が滴っているのを見つけたため、急遽ゴミ用のペール缶を貯水用に設置するなど、様々なことをやり終えました。
- ・先ず気になるフクロウの営巣ですが、昨年営巣した上部植栽地の下段の巣箱の付近の木から放置植林エリアに、2羽のフクロウが飛び去るのを目撃しました。
- ・巣箱の中には残念ながらまだ産卵されていませんでしたが、多分つがいだろうと思われ、巣箱の中の藁が何かが入ってかき回したようになっていますから、産卵は近いと思われ、今年も営巣する可能性が高くなってきました。次回の確認が楽しみです。 活動頂いた7名の皆さん、お疲れ様でした。

■次回3月17日(土)の活動について

- ・次回は、ミカンの苗木12本を植える日で、雨でも決行しますが、既にメールでお願いしましたように現在は雨水の集水装置が未完成ですから、参加頂ける方は無理のない範囲で水の持参をお願いします。
- ・特に車で参加される方は期待大で、最低20ℓ（ポリタンク一杯；出来れば苗木1本分の30ℓ）程度の水を持参いただきますようお願い申し上げます。

■フクロウの営巣確認

2羽のフクロウが飛ぶのを目撃！ 産卵から抱卵へ、営巣の可能性が高くなりました。



- ・これまで、営巣したかどうかは、親鳥が巣の中にいることを確認した段階（＝抱卵している状態）で決めてきました。
- ・その基準では、今回も、毎年営巣実績のある巣箱（写真A）でも、昨年営巣した巣箱（写真B）でも、何かあったような跡はありますが抱卵はしていませんから、営巣したとは言えません。
- ・ただ、確認中に、写真Bの近辺の木から、更に上部の放置植林地の方に、フクロウが2羽飛び去るのを目撃しました。
- ・恐らくつがいのフクロウで、巣箱を物色している段階のようですから、営巣も近いと思われ、
- ・次回は楽しみです。

■沢筋の作業道の補修

作業道に伏流水が噴き出してできた穴を、工事残土のごろ石を運んで修復しました。



ごろ石を手作業で運び、3箇所ある穴を埋め、土をかぶせて完了です。お疲れ様でした。

■活動頂いた7名の皆さん。石運びご苦労様でした。



修復した穴を前に撮影。パーフェクトです。



- 多目的広場の基地の前あたりに、昨年の集中豪雨で被害が出た神於山の水路復旧で出た土砂が持ち込まれていました。
- 岸和田市建設部水とみどり課の黒見さんから、ごろ石などを除いたあと、広場に敷き均しするとの連絡をいただきましたが、そのごろ石を使って作業道の修理ができましたから、グッドタイミングだったようです。



■雨水の活用の準備。

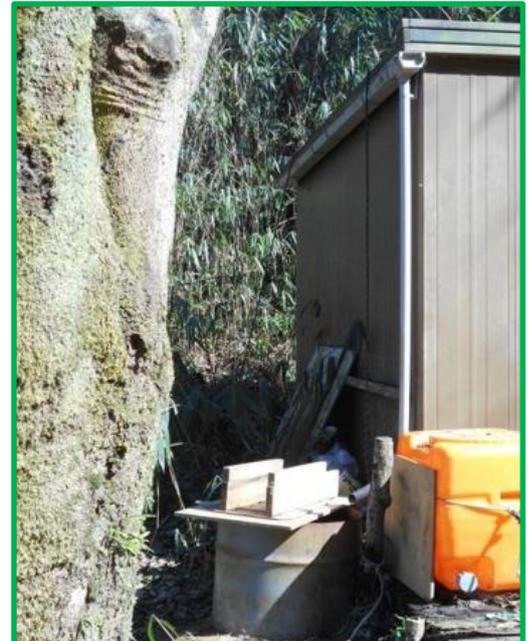
雨水の活用方法は、色々考えられますが、出来ることからコツコツと・・・



波板の屋根には、トコを付けて雨水を収集します。



- 下は、原さんが仕掛けた、多目的広場の排水管から出る雨水の収集装置。
- 滴る程度のものですが、既にゴミのパール缶1個と、プラスチックのゴミ箱は満水になっていましたから更にゴミのパール缶1個を仕掛けました。
- これで140～150リットルは収集できます。



倉庫の屋根の雨水収集装置は修復済。



- 排水管からの水は、土を通過して出てくる水ですから少し濁っていますが、植木に遣る水ですから問題は有りません。
- 雨水の利活用は真剣に考える価値がありそうです。



- 暗渠の近くのタラノキの先端に、小鳥が止まっています。きしわだ自然資料館の風間さんに同定してもらったところ、ジョウビタキの雌鳥と判りました。
- 「羽の白い点が紋の様に見えるので、「紋付き鳥」という地域もある。」とのことですが、体長は 13.5-15.5 cm、体重 13-20 g で、僅かながらスズメより小さいのに、冬に日本にやってきて、春になると北に帰る渡り鳥だそうです。



- 沢筋の作業道に伐採して放置してあった木からシイタケが出ていました。
- 植菌した榎木から飛んだ菌が付いたものかもしれません。



- 神於山シャープの森の看板が、風で外れていたもので、応急処置で留め直しました。
- この看板は、2007年に設置し、柱が腐食したので一旦外しておいたものを2013年に復元設置したもので、書体も2007年と全く同じです。
- 板材も2007年のものに2013年に防腐・防虫塗装をしてそのまま使っていますが、よく見ると腐食し、脆くなっている箇所も有ります。
- 補修して更に使うか、新しく作り直すか、考えないといいけない様です。